

資料 4

報道発表資料  
平成28年 6月14日  
気 象 庁

第135回火山噴火予知連絡会  
全国の火山活動の評価

本日、第134回火山噴火予知連絡会（平成28年 2月17日）以降の全国の火山活動について検討を行い、結果を以下のとおり取りまとめました。

**全国の主な火山活動**

今期間（平成28年 2月17日～ 6月14日）、桜島、阿蘇山、諏訪之瀬島及び新潟焼山で噴火が発生しました。

口永良部島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 3）〕については別に「口永良部島の火山活動に関する検討結果」として取りまとめました。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 3）〕昭和火口及び南岳山頂火口の噴火活動は活発な状態で経過しています。始良カルデラの地下深部の膨張が続いていることから、火山活動の更なる活発化の可能性もあり、引き続き火山活動の推移を注意深く監視していく必要があります。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）〕西之島では、火山活動の明らかな低下が認められるものの、火山ガスの放出が続いています。火口周辺では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

吾妻山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕大穴火口の噴気活動や熱活動はやや活発な状態が続いています。大穴火口付近では小規模な噴火が発生する可能性がありますので、大穴火口周辺では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスに注意してください。

草津白根山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕湯釜火口の北から北東内壁及び水釜火口の北から北東側にかけての斜面で熱活動の活発な状態が継続しています。また、北側噴気地帯の噴気活動が活発化し、ガス組成及び湯釜湖水の化学成分の活動活発化を示す変化が継続しています。

草津白根山では火山活動が活発化した状態が続いており、小規模な噴火が発生する可能性があることから、湯釜火口から概ね 1 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスに注意してください。

浅間山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕火山性地震のやや多い状態が続いています。6月6日以降は弱い火映を時々観測しています。

山頂火口から概ね 2 kmの範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。登山者等は危険な地域には立ち入らないよう地元自治体等の指示に従ってください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

御嶽山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕火口列からの噴煙活動や地震活動が続いていることから、今後も小規模な噴火が発生する可能性があります。

火口から概ね 1 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

阿蘇山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕2月から5月にかけて時々小規模な噴火が発生しました。火山性微動の振幅は消長を繰り返しており、二酸化硫黄放出量は概ね多い状態が続いています。

中岳第一火口では、時々小規模な噴火が発生していることから、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

中岳第一火口から概ね 1 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスに注意してください。

新潟焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1）〕2015年夏頃から噴煙がやや高く上がる傾向が認められています。4月及び5月に実施した上空からの観測で山頂周辺の降灰を確認しました。ごく小規模な噴火があったものとみられます。

2016年5月1日に振幅の小さな火山性地震が増加し、2日以降は減少する傾向にあります。5月4日以降低周波地震も時々発生しています。

GNSSによる地殻変動観測では、2016年1月頃から新潟焼山を南北に挟む基線で伸びがみられています。

想定火口内（山頂から半径 1 km以内）に影響を及ぼすような噴火が発生するおそれがあります。今後の火山活動に注意してください。登山者等は地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

## 各地方の主な活火山の火山活動評価

### 1. 北海道地方

アトサヌプリ [ 噴火予報 ( 噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意 ) ]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳 [ 噴火予報 ( 噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意 ) ]

- ・5月3日から25日にかけて、ポンマチネシリ火口付近の浅い所を震源とする微小な火山性地震がやや増加しました。
- ・ポンマチネシリ96-1火口の噴煙量は、2015年6月頃以降やや多い状態が続いています。また、ポンマチネシリ96-1火口近傍の地下における熱活動の活発化の可能性を示す全磁力の変化は継続しています。今後の火山活動の推移に注意してください。

大雪山 [ 噴火予報 ( 活火山であることに留意 ) ]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳 [ 噴火予報 ( 噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意 ) ]

- ・火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ・ここ数年、山体浅部の膨張、大正火口の噴煙量増加、地震増加、火山性微動の発生、発光現象及び地熱域の拡大などを確認しており、長期的にみると火山活動は高まる傾向にあるので、今後の火山活動の推移に注意してください。

樽前山 [ 噴火予報 ( 噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意 ) ]

- ・4月26日に火山性微動が2回発生しましたが、4月27日に実施した現地調査及び上空からの観測では地熱域の広がりに変化はなく、噴気等の状況に大きな変化はありませんでした。
- ・山頂溶岩ドーム周辺では、1999年以降、高温の状態が続いているので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

倶多楽 [ 噴火予報 ( 噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意 ) ]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山 [ 噴火予報 ( 噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意 ) ]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳 [ 噴火予報 ( 噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意 ) ]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

恵山 [ 噴火予報 ( 噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意 ) ]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### 2. 東北地方

岩木山 [ 噴火予報 ( 活火山であることに留意 ) ]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山 [ 噴火予報 ( 活火山であることに留意 ) ]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田焼山 [ 噴火予報 ( 噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意 ) ]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

岩手山 [ 噴火予報 ( 噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意 ) ]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田駒ヶ岳 [ 噴火予報 ( 噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意 ) ]

- ・女岳では、2009年から拡大した地熱域が引き続きみられますが、2014年10月以降は大きな変化は認められません。
- ・地震活動は、一時的に増加することもありましたが概ね低調で、地殻変動にも特段の変化はみられません。地熱活動が続いていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

鳥海山 [ 噴火予報 ( 活火山であることに留意 ) ]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

栗駒山 [ 噴火予報 ( 活火山であることに留意 ) ]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山 [ 噴火予報 ( 活火山であることに留意 ) ]

- ・御釜付近が震源とみられる火山性地震は、少ない状態で経過しました。
- ・今期間に発生した火山性微動のうち、3月6日に発生した火山性微動は、継続時間の長いものでしたが、最大振幅はこれまでに発生した微動と同程度でした。この微動発生に伴いわずかな傾斜計の変化がみられましたが、微動発生前の状態に戻っています。
- ・長期の傾斜変動では、2014年8月頃から南東上がりの傾向がみられていましたが、2015年11月頃から停滞しています。
- ・GNSS連続観測では、一部の基線で2014年10月以降、山体のわずかな膨張を示す変化がみられていましたが、2015年6月頃から停滞しています。
- ・5月12日及び6月2日に行った現地調査では、振子沢付近の温泉湧出域で、湧出量の減少、湧水温度の低下がみられました。また、地表面温度の高温域は認められませんでした。
- ・丸山沢の地熱域や噴気の状況に特段の変化は認められませんでした。
- ・2013年以降、火山性地震の増加や火山性微動の発生が観測されており、長期的にみると火山活動はやや高まった状態にありますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

吾妻山 [ 火口周辺警報 ( 噴火警戒レベル 2、火口周辺規制 ) ]

- ・大穴火口付近直下が震源とみられる火山性地震は、3月28日から4月6日にかけて多い状態となりましたが、その他の期間は少ない状態で経過しました。
- ・遠望カメラによる観測では、大穴火口 ( 一切経山南側山腹 ) の噴気の高さは100m以下で経過しました。
- ・5月19日に実施した現地調査では、2015年10月に新たな噴気が確認された大穴火口

北西で、前回確認された噴気孔の南側に新たな複数の弱い噴気が線状（約100m）に噴出しているのを確認しました。大穴火口の噴気に変化はみられませんでした。

- ・ 5月に実施した全磁力繰り返し観測結果によると、2014年10月以降の大穴火口周辺の地下での熱活動の活発化を示す全磁力値の変化は、2015年秋以降停滞傾向にあると考えられます。
- ・ GNSS連続観測では、2014年秋以降に一切経山付近の膨張を示す緩やかな変化がみられていましたが、2015年7月頃から停滞または収縮の傾向となっています。5月27日から30日にかけて実施した大穴火口付近のGNSS繰り返し観測でも、前回（2015年6月22～25日）の観測以降、大穴火口を挟む基線で収縮を示す変化がみられました。
- ・ 浄土平観測点（大穴火口の東南東約1km）の傾斜計では、2015年6月頃まで西南西側（火口方向側）上がりの変動で推移し2015年7月頃から停滞していましたが、2015年9月後半頃から西側下がり傾向となっています。
- ・ 大穴火口付近の浅部での熱活動が高まった状態が継続しています。小規模な噴火が発生する可能性があると考えられますので、大穴火口周辺では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、大穴火口の風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスに注意してください。

安達太良山 [ 噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意） ]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山 [ 噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意） ]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### 3. 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島

那須岳 [ 噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意） ]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山 [ 噴火予報（活火山であることに留意） ]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

草津白根山 [ 火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制） ]

- ・ 湯釜火口の北から北東内壁及び水釜火口の北から北東側にかけての斜面で熱活動の活発な状態が継続しています。また、2015年9月以降、北側噴気地帯で噴気活動が活発になっています。
- ・ 2014年5月以降、北側噴気地帯の硫化水素ガス成分の減少した状態が継続しています。
- ・ 2014年3月上旬から湯釜付近及びその南側を震源とする火山性地震が増加していましたが、2014年8月下旬以降概ねやや少ない状態で経過しています。
- ・ GNSSによる地殻変動観測では、2014年4月頃から湯釜を挟む基線で伸びの傾向がみられ、2015年4月頃から鈍化、11月頃から停滞傾向が認められます。2016年4月及び5月に実施した湯釜周辺のGNSS及び光波測距による繰り返し観測では、2015年10月に比べて湯釜付近の収縮を示す変化がみられています。
- ・ 2014年3月頃からみられていた湯釜周辺の傾斜計の湯釜付近の膨張を示す変動は、2015年11月頃から停滞傾向が認められます。

- ・ 2014年 5 月頃から湯釜近傍地下の岩石の熱消磁によると考えられる全磁力変化がみられていましたが、2014年 7 月以降は停滞しています。
- ・ 草津白根山の火山活動は活発化を示す変化が観測され、その状態が継続しており、小規模な噴火が発生する可能性があることから、湯釜火口から概ね 1 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

浅間山 [ 火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制） ]

- ・ 2015年 6 月19日の噴火後、噴火は観測されていません。
- ・ 6 月 6 日以降の夜間に高感度カメラで確認できる程度の弱い火映を時々観測しています。
- ・ 火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、2015年 6 月から多い状態が続いていましたが、12月以降減少しました。2016年 2 月以降は 1 日あたり300トン以下となっていました。6 月10日に400トンとなっています。
- ・ 火山性地震はやや多い状態で経過しています。発生している地震はその多くがBL型地震です。
- ・ 火山性微動は、2015年 9 月以降は少ない状態で経過していましたが、2016年 1 月以降やや増加しています。
- ・ 山頂火口から概ね 2 kmの範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。登山者等は危険な地域には立ち入らないよう地元自治体等の指示に従ってください。
- ・ 風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

新潟焼山 [ 噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意） ]

- ・ 2015年夏頃から山頂部東側斜面の噴煙がやや高く上がる傾向が認められ、12月下旬からは噴煙量も多くなっています。4 月15日及び 5 月 6 日に実施した上空からの観測で降灰を確認しました。ごく小規模な噴火があったものとみられ、時期は不明ですが、この観測までに複数回発生したものとみられます。
- ・ 2015年以降、火山性地震がやや増加しています。2016年 5 月 1 日に振幅の小さな火山性地震が増加し、日回数が25回に達しました。2 日以降は次第に減少する傾向にありますが、以前の状態には戻っておらず、5 月 4 日以降低周波地震も時々発生しています。
- ・ GNSSによる地殻変動観測では、2016年 1 月頃から新潟焼山を南北に挟む基線で伸びがみられています。
- ・ 想定火口内（山頂から半径 1 km以内）に影響を及ぼすような噴火が発生するおそれがあります。今後の火山活動の推移に注意してください。
- ・ 想定火口内は、平成28年 3 月 2 日から、地元自治体等により立入規制が実施されています。登山者等は地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

弥陀ヶ原 [ 噴火予報（活火山であることに留意） ]

- ・ 弥陀ヶ原近傍の地震は少ない状態で経過しています。
- ・ 立山地獄谷では以前から熱活動が活発でしたが、2012年 6 月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇傾向が確認されており、今後の火山活動の推移に注意してください。また、この付近では火山ガスに注意してください。

焼岳 [ 噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意） ]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

乗鞍岳 [ 噴火予報 ( 活火山であることに留意 ) ]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

御嶽山 [ 火口周辺警報 ( 噴火警戒レベル 2、火口周辺規制 ) ]

- ・今期間、噴火は発生しませんでした。GNSS連続観測の一部の基線では、2014年10月以降山体の収縮によると考えられる縮みの傾向がみられており、火山活動は長期的には低下傾向にあります。
- ・しかしながら、剣ヶ峰山頂の南西側の火口列からの噴煙活動は継続しています。火山性地震は、2015年7月以降月回数70回前後の概ね横ばいで経過しています。5月19日には火山性微動も発生しました。
- ・このように火口列からの噴煙活動や地震活動が続いていますので、小規模な噴火が発生する可能性があると考えられます。
- ・火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

白山 [ 噴火予報 ( 噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意 ) ]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

富士山 [ 噴火予報 ( 噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意 ) ]

- ・2011年3月15日に山頂の南南西約5km、深さ15kmを震源とする静岡県東部の地震(マグニチュード6.4、最大震度6強)が発生しました。それ以降、その震源から山頂直下付近にかけて地震活動が活発な状況となりました。その後、地震活動は低下しつつも継続しています。
- ・その他の観測データに異常を示すものはなく、噴火の兆候は認められません。

箱根山 [ 噴火予報 ( 噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意 ) ]

- ・地震活動は低調に経過しています。火山性微動は観測されていません。
- ・噴火の兆候は認められませんが、大涌谷周辺の想定火口域では、引き続き噴気活動が活発なところがありますので、噴気や火山ガスに引き続き注意してください。

伊豆東部火山群 [ 噴火予報 ( 噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意 ) ]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島 [ 噴火予報 ( 噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意 ) ]

- ・地殻変動観測によると、短期的な膨張や収縮があるものの、長期的には、地下深部へのマグマ供給によると考えられる島全体の膨張傾向が継続しています。
- ・その他の観測データには特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。長期的には山体の膨張が継続していることから、今後の火山活動に注意してください。

新島 [ 噴火予報 ( 活火山であることに留意 ) ]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

神津島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

- ・噴煙は白色で、高さは火口縁上概ね500m以下で経過しています。
- ・山頂浅部を震源とする地震は概ね少ない状態で経過しています。
- ・2月22日から23日にかけて継続時間の合計が約6時間の火山性微動が発生しました。5月11日23時頃から12日03時頃にかけて再び火山性微動が発生し、これに伴い、傾斜計で火口の南東から南方向が沈降する傾向の変動が観測されました。
- ・火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、長期的には緩やかな減少傾向にありますが、火山性微動の発生直後の5月12日午前中に実施した現地調査では、1日あたり1,200トンに増加しました。翌日（13日）には1日あたり400トンに減少し、その後は1日あたり100トンで経過しています。
- ・GNSSによる観測では、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなり、2013年頃から停滞していましたが、2016年初め頃から伸びの傾向がみられます。山体深部の膨張を示す地殻変動も継続しています。2016年2月から4月頃にかけて、これらの伸びの傾向に一時的な加速が認められました。
- ・これらのことから、今後も規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性があります。
- ・山頂火口及び主火孔から500m以内では火山灰噴出に引き続き注意してください。

八丈島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

青ヶ島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）〕

- ・2013年11月20日に西之島の南東海上で確認された噴火では、噴石等を放出する爆発的噴火や溶岩の流出により新島が拡大し、2013年12月26日には西之島旧島と一体となりました。
- ・2015年11月17日にブルカノ式噴火を確認して以降、噴火は観測されていません。溶岩の流出は停止し、島の面積の拡大も停止しているものとみられます。
- ・島の周辺の観測では、2015年11月中旬まで噴煙の放出を示す震動や空振が観測されていましたが、11月下旬以降はほとんど観測されていません。
- ・2015年12月以降は地表面温度の低下した状態が続いています。
- ・海上や上空からの観測によると、2016年4月14日及び5月4日には第7火口から白色の噴気、5月20日及び6月7日には、同火口から二酸化硫黄とみられる火山ガスの放出が確認されました。また6月6～8日にも弱い噴気が認められました。
- ・島の海岸付近では変色水域が確認されています。
- ・西之島では、火山活動に明らかな低下が認められ、噴火の可能性はかなり低くなっているものの、火山ガスや噴気が時々観測されており、小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。
- ・火口周辺では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。



②1 硫黄島 [ 火口周辺警報 ( 火口周辺危険 ) ]

- ・島西部の旧火口 ( 通称：ミリオンダラーホール ) では、2013年4月12日以降、噴火は確認されていません。
- ・地震活動はやや少ない状態で経過しています。火山性微動は時々観測されています。
- ・GNSSによる地殻変動観測では、2014年2月下旬頃から隆起・停滞を繰り返し、2015年3月頃から隆起速度が上がっていましたが、10月以降は2月以前の状態に戻っています。
- ・硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火が発生した地点およびその周辺では警戒してください。

②2 福徳岡ノ場 [ 噴火警報 ( 周辺海域警戒 ) ]

- ・長期間にわたり変色水が確認されており、小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒してください。

#### 4 . 九州地方・南西諸島

鶴見岳・伽藍岳 [ 噴火予報 ( 活火山であることに留意 ) ]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

九重山 [ 噴火予報 ( 噴火警戒レベル1、活火山であることに留意 ) ]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
- ・GNSS連続観測によると、2012年頃から一部の基線で伸びの傾向が認められますが、2016年1月頃から鈍化しています。今後の火山活動の推移に注意してください。

阿蘇山 [ 火口周辺警報 ( 噴火警戒レベル2、火口周辺規制 ) ]

- ・2月17日、18日、3月4日、4月16日及び5月1日に噴火が発生しました。
- ・2月18日の噴火では乳白色の噴煙が火口縁上1,600mまで上がった他、火口から北西約400mに噴石が飛散するのを確認しました。
- ・火山性微動の振幅は、2月から3月上旬及び4月末から5月中旬にやや大きな状態となり、その後も消長を繰り返しています。また、4月16日から18日にかけて、調和型の火山性微動が発生し、一時的に振幅のやや大きな状態となりました。
- ・火山性地震は、3月に一時的にやや多い状態となりましたが、概ね少ない状態で経過しました。
- ・孤立型微動は概ねやや多い状態で経過しました。
- ・中岳第一火口内で引き続き灰白色から灰色の湯だまりを確認しました。また、火口底での土砂噴出も引き続き確認しました。3月以降、火口底の南側で、4月以降は南西側でも高温の噴気孔を確認しました。
- ・火山ガス ( 二酸化硫黄 ) の放出量は、1月及び2月は1日あたり300～1,800トンと一時的に減少する時もありましたが、3月以降は1日あたり1,200～2,500トンと多い状態で経過しています。
- ・GNSS観測では、「平成28年熊本地震」に伴い、阿蘇山を囲む基線で最大0.9m程度の伸びが発生し、中岳第1火口周辺ではわずかに縮むなどの変動が認められます。
- ・中岳第一火口では、時々小規模な噴火が発生しており、2015年12月25日程度の火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。
- ・火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスに注意してください。

雲仙岳 [ 噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意） ]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
- ・長期的には2010年頃から火山性地震の活動がやや活発となっていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

霧島山

新燃岳 [ 火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制） ]

- ・新燃岳では、今期間噴火は発生していません。
- ・白色の噴煙は、5月12日に火口縁上300mまで上がりましたが、それ以外の期間のほとんどは火口内で消散する程度でした。
- ・2016年2月14日から火山性地震がやや増加し、2月23日には日回数155回と多い状態となりましたが、2月26日以降は少ない状態となりました。震源は、新燃岳付近のごく浅いところから海拔下2 km付近に分布しました。火山性微動は2015年3月1日に発生して以降、観測されていません。
- ・GNSS観測によると、新燃岳の北西数km（えびの高原付近）の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2015年1月頃から停滞しています。一方、新燃岳周辺の一部の基線では、2015年5月頃からわずかに伸びの傾向がみられていましたが、10月頃から停滞しています。
- ・2015年11月頃から西側斜面の割れ目の下方で、やや温度の高い部分が観測されました。2016年4月以降に割れ目の下方からも、ごく弱い噴気が上がっていることを確認しました。噴気が上がっていた周辺で、弱い熱異常域となっていることを確認しました。
- ・干渉SARによる解析では、火口内に蓄積された溶岩のわずかな体積膨張が続いています。
- ・今後も火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性がありますので、新燃岳火口から概ね1 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。噴火時には、風下側では火山灰だけではなく小さな噴石（火山れき）が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。降雨時には泥流や土石流に注意してください。

御鉢 [ 噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意） ]

- ・火山性地震は2015年12月に増加しましたが、その後次第に減少傾向にあります。
- ・5月25日に継続時間が約1分半の振幅の小さな火山性微動が発生しました。御鉢で火山性微動を観測したのは2015年11月19日以来です。
- ・今のところ噴火の兆候は認められませんが、時折地震の増加や火山性微動の発生がみられることから、今後の火山活動の推移に注意してください。

えびの高原（硫黄山）周辺 [ 噴火予報（活火山であることに留意） ] 平成28年2月28日に噴火予報（活火山であることに留意）から火口周辺警報（火口周辺危険）に引上げ、平成28年3月29日に火口周辺警報（火口周辺危険）から噴火予報（活火山であることに留意）に引下げ

- ・火山性微動が時々発生し、それに伴い傾斜計では硫黄山の北西方向にわずかに隆起するような変動が2015年7月頃から2016年2月まで繰り返し観測されました。
- ・水準測量及び干渉SARによると、2016年3月まで硫黄山を中心とするわずかな隆起が観測されています。
- ・2月28日にはえびの高原（硫黄山）周辺の浅いところを震源とする火山性地震が増加し、日回数で53回発生しましたが、その後少ない状態で経過しています。
- ・2015年12月14日に硫黄山火口内の南西側で確認された噴気活動を伴った熱異常域は、

硫黄山火口南斜面及び南東側に拡大しています。

- ・2014年夏頃から熱消磁によるとみられる全磁力変化が観測されています。
- ・えびの高原カメラ（硫黄山火口から約1 km）によると、噴気は高さ概ね20mで経過しました。
- ・えびの高原（硫黄山）周辺では、2015年7月頃から火山性微動が時々発生し、硫黄山火口内の南西側で弱い噴気や熱異常域が確認され、次第に拡大するなど、火山活動がやや高まってきています。噴気地帯の周辺では、突発的な噴出現象が発生する可能性がありますので、今後の火山活動の推移に注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

桜島 [ 火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制） ]

- ・昭和火口および南岳山頂火口の噴火活動は、活発な状態で経過しています。
- ・昭和火口では2016年2月5日の爆発的噴火以降、時々噴火が発生しており、噴煙の高さが火口縁上3,000m以上の噴火は15回発生し、5月1日15時36分の爆発的噴火では、多量の噴煙が火口縁上4,100mに達しました。
- ・大きな噴石が4合目（昭和火口より800～1,300m）まで達する噴火が8回発生し、ごく小規模な火砕流が3回発生しました。火砕流は昭和火口の東および南東側へ400から500m流下しました。
- ・南岳山頂火口では噴火が10回発生し、5月13日16時38分の噴火では、多量の噴煙が火口縁上3,700mに達しました。
- ・火山性地震、火山性微動はともに少ない状況でした。
- ・地殻変動観測では、2015年8月15日の急激な変動以降、顕著な山体膨張を示す急激な変動はみられません。GNSS観測では、桜島北部での隆起が2015年1月から続いています。さらに始良カルデラを挟む基線での伸びの傾向は続いています。
- ・火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は1日あたり100～600トンと2016年1月以前より増加しています。
- ・桜島の火山灰の月別の噴出量は、2016年1月約3万トン、2月及び3月約10万トン、4月約20万トンとわずかずつ増加傾向にあります。
- ・以上のように、桜島の噴火活動は活発な状態となっており、今後も活発な噴火活動が継続すると考えられます。桜島ヘマグマを供給していると考えられる始良カルデラの地下深部では膨張が続いていることから、火山活動の更なる活発化の可能性もあり、引き続き火山活動の推移を注意深く監視していく必要があります。
- ・昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るため注意してください。
- ・爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

薩摩硫黄島 [ 噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意） ]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ・硫黄岳火口では、噴煙活動が続いており、火口内では火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

口永良部島 [ 火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制） ] 平成28年6月14日に噴火警戒レベルを5（避難）から3（入山規制）に引下げ

- ・新岳では、2015年6月19日の噴火後、噴火は観測されていません。火映は2015年5

月29日の噴火以降観測されていません。

- ・火山性地震は時々発生していますが、新岳火口付近の火山性地震は、2014年8月の噴火前よりやや少ない状況です。火山性微動は観測されていません。
- ・現地調査では、2015年9月以降、新岳火口の西側割れ目付近の熱異常域の温度の低下が認められていますが、噴煙は最高で火口縁上400mまで上がるなど、2014年8月3日の噴火前よりは多い状態が続いています。
- ・地殻変動観測では、山麓の七釜-口永良部島（国）、七釜-ヘリポートの、新岳火口を挟むGNSS連続観測の基線長に、2016年1月頃から縮み傾向がわずかに認められ、5月以降は明瞭になっています。
- ・火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、2016年1月以降、1日あたり50～200トンと2014年8月3日の噴火前よりは多い状態が続いています。
- ・2015年5月29日の噴火前にみられた島の膨張は、2016年1月頃から収縮に転じており、2015年5月29日と同程度の噴火が発生する可能性は更に低下してきています。
- ・火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が、2014年8月3日の噴火前よりは多い状態が続いており、引き続き噴火の可能性があります。
- ・新岳火口から概ね2 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。
- ・向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では火砕流に警戒してください。
- ・風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るため注意してください。降雨時には土石流の可能性があるので注意してください。

諏訪之瀬島 [ 火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制） ]

- ・御岳火口では、爆発的噴火が32回発生するなど、活発な火山活動が継続しています。
- ・十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、1月から4月には集落（御岳の南南西約4 km）で時々降灰が確認され、3月と4月には時々鳴動が確認されました。
- ・諏訪之瀬島周辺を震源とするA型地震が増加し、4月の地震回数は1,195回となりました。このうち、島内の震度観測点（鹿児島十島村諏訪之瀬島）で震度1以上を観測するA型地震が13回発生し、4月24日22時27分にはマグニチュード4.2の地震が発生し、震度4を観測しました。
- ・火山性微動は、時々発生しています。
- ・諏訪之瀬島では、活発な噴火活動が続いており、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

---

注）噴火警戒レベルは平成28年6月14日現在、34火山で運用しています。

・全国の活火山の噴火警報及び噴火予報発表状況(6月14日09時現在)

地方	火山名	現 在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2016年3月23日 噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	雌阿寒岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年9月29日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年10月17日 噴火予報(平常) 2008年11月17日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年12月16日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年4月10日 噴火予報(レベル1、平常) 2015年7月28日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年11月13日 噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	大雪山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	十勝岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年12月16日 噴火予報(レベル1、平常) 2014年12月16日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年2月24日 噴火予報(レベル1、平常)
	樽前山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	倶多楽	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2015年10月1日 噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	有珠山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年6月9日 噴火予報(レベル1、平常)
	北海道駒ヶ岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
東北地方	恵山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2016年3月23日 噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	岩木山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	八甲田山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	秋田焼山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2013年7月25日 噴火予報(レベル1、平常)
	岩手山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	秋田駒ヶ岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2009年10月27日 噴火予報(レベル1、平常)
	鳥海山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	栗駒山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	蔵王山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2015年4月13日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2015年6月16日 噴火予報(活火山であることに留意)
	吾妻山	火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2014年12月12日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	安達太良山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2009年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	磐梯山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2009年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
関東・中部地方	那須岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2009年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	日光白根山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	草津白根山	火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2009年4月10日 噴火予報(レベル1、平常)切替 2014年6月3日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)

	火山名	現 在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	浅間山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2008年8月8日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年2月1日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年2月3日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2009年4月7日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年4月15日 噴火予報(レベル1、平常) 2015年6月11日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	新潟焼山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2011年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	弥陀ヶ原	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	焼岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2011年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	乗鞍岳	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	御嶽山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年3月31日 噴火予報(レベル1、平常) 2014年9月27日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2014年9月28日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年1月19日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年3月31日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年6月26日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	白山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2015年9月2日 噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	富士山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	箱根山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2009年3月31日 噴火予報(レベル1、平常) 2015年5月6日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年6月30日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2015年9月11日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年11月20日 噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	伊豆東部火山群	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2011年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	伊豆大島	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	新島	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	神津島	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	三宅島	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年3月31日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年6月5日 噴火予報(活火山であることに留意)
	八丈島	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	青ヶ島	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	西之島	火口周辺警報(入山危険)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2013年11月20日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2014年6月3日 火口周辺警報(入山危険) 2014年6月11日 火口周辺警報(入山危険)切替 2015年2月24日 火口周辺警報(入山危険)切替 2016年2月17日 火口周辺警報(入山危険)切替
	硫黄島	火口周辺警報(火口周辺危険)	2007年12月1日 火口周辺警報(火口周辺危険)
	福徳岡ノ場	噴火警報(周辺海域警戒)	2007年12月1日 噴火警報(周辺海域警戒)
九州地方	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	九重山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)

	火山名	現 在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	阿蘇山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2011年5月16日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2011年6月20日 噴火予報(レベル1、平常) 2013年9月25日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2013年10月11日 噴火予報(レベル1、平常) 2013年12月27日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2014年3月12日 噴火予報(レベル1、平常) 2014年8月30日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年9月14日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2015年11月24日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	雲仙岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	霧島山(新燃岳)	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2008年8月22日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年10月29日 噴火予報(レベル1、平常) 2010年3月30日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年4月16日 噴火予報(レベル1、平常) 2010年5月6日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2011年1月26日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2011年1月31日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2011年2月1日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2011年3月22日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2012年6月26日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2013年10月22日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	霧島山(御鉢)	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	霧島山(えびの高原(硫黄山)周辺)	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2014年10月24日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2015年5月1日 噴火予報(平常) 2016年2月28日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2016年3月29日 噴火予報(活火山であることに留意)
	霧島山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	桜島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年2月3日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年2月20日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年4月8日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年7月14日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年7月28日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年8月28日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年2月2日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年2月19日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年3月2日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年3月10日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2009年4月24日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年7月19日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2010年9月30日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年10月13日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2012年3月12日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2012年3月21日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年8月15日 噴火警報(レベル4、避難準備) 2015年9月1日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2015年11月25日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)

	火山名	現 在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方・南西諸島			2016年2月5日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	薩摩硫黄島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日 噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年7月10日 噴火予報（レベル1、平常）
	口永良部島	噴火警報（レベル5、避難）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日 噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日 噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年8月7日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年5月29日 噴火警報（レベル5、避難） 2015年10月21日 噴火警報（レベル5、避難）切替
	諏訪之瀬島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

注）噴火警報及び噴火予報の発表履歴は、2007年12月1日以降のものを記載しています。

2015年5月18日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しています。

上記以外の活火山では2007年12月1日に噴火予報（平常\*）を発表し、その後、予報事項に変更はありません。

地 方	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、燐婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

\* 2015年5月18日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しています。

\*\* 天頂山と雄阿寒岳は2011年6月7日に活火山として追加し、噴火予報（平常）を発表しました。



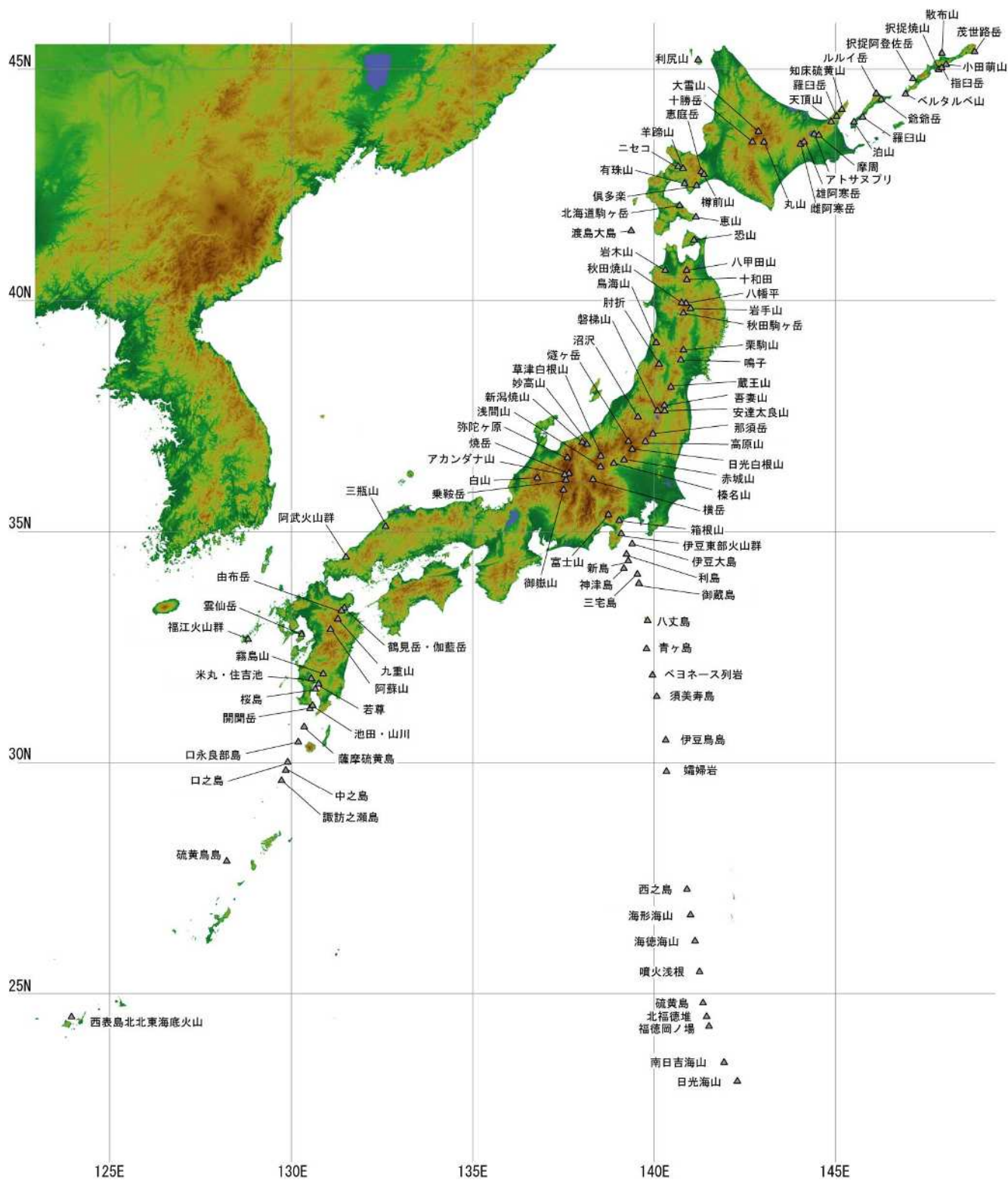


図 全国の活火山分布